むらかみ 市議会だより

NO.81
令和7年2月15日

［特集］行政視察レポート … 2
12月定例会
一般質問…… 4
主な議案…… 11
議案の審議結果…… 14
議会の活動レポート…… 16
市民へインタビュー…… 20

未来へはばたけキッズスケーター〔村上市スケートパーク〕

市議会だより

を市政に生かす

総務文教 保小中一貫教育の現状は

本市においては、「第2次村上市立小・中学校望ましい教育環境整備計画方針」に基づき学校統合計画が進められていますが、廃校利用の一つとして、旧神納東小学校を活用した子育て支援拠点施設が整備・運営されています。また、村上駅周辺まちづくり事業大規模跡地利用として統合保育園が計画されていることから、保小中一貫教育における先進的な取り組みを展開する湯沢学園を視察しました。

湯沢町では町内の保育園、小学校、中学校を平成28年に一つに統合し、湯沢学園としてスタートさせました。先進的な校舎で555人の子どもたちが学んでおり、地域住民との交流が図れる工夫もあり、また、給食費が無償化されていることにも感心しました。

さらに、未満児から2歳児の保育も行われています。施設内に教育委員会が設置されているほか、敷地内には学童保育所、子育て支援センターも設けられています。

廃校の利活用を参考に

湯沢町では、統合により廃校となった校舎を民間企業の倉庫や外国人向けの語学学校などに利活用しています。廃校となった学校施設など公共施設の利活用は、本市の参考とすべき点が多くあり、有意義な視察となりました。

市民厚生 定住促進へ多様な取り組み

兵庫県相生市では「将来の人口減少」を市の最重要課題として位置付け、「選択と集中」による投資として、①人口減少対策、②教育・子育て・少子化対策、③産業活性化対策に取り組んでいます。

「11の鍵」の取り組み

平成23年に「子育て応援都市宣言」を行い、子育て世代をターゲットにした定住促進策に取り組んでいます。具体的には「あつまれ新婚さん新生活応援金」や「住宅取得奨励金」、「給食費無償化」など、11の事業を「あいおいが暮らしやすい11の鍵」として施策を展開しています。

認知度向上で定住者を増やす

これまでの取り組みにより、市内の子育て世代の間では「子育て応援都市・相生」という認識が広がってきましたが、今後の課題は市の認知度を上げて定住者を増やすこととのこと。テレビCMや電車の中吊り広告、映画館でのアニメーション動画の上映など多様な媒体を活用し、プロモーション活動を展開して市の認知度向上を図っています。

本市の取り組みの参考に

人口減少や少子化は本市と共通する課題です。子育て応援都市宣言や「11の鍵」に基づく取り組み、多様な媒体を活用した市の認知度アップなど、本市でも参考にしたいと思います。

常任委員会の行政視察レポート

村上市議会では、他自治体などの先進の取り組みを学び、本市の市政に対する施策の提案などに反映させるため行政視察を行っています。

■総務文教常任委員会

10月７日、８日

◎髙田　晃　　○富樫雅男　　魚野ルミ　　尾形修平
鈴木いせ子　　菅井晋一　　野村美佐子

視察先	内　　容
新潟県 湯沢町	保小中一貫教育「湯沢学園」の取り組み
新潟県 妙高市	妙高市生活交通確保対策事業

■市民厚生常任委員会

11月11日～13日

◎鈴木一之　　○上村正朗　　渡辺　昌　　長谷川孝
川村敏晴　　大滝国吉　　山田　勉

視察先	内　　容
兵庫県 相生市	子育て応援施策「11の鍵」
岡山県 奈義町	奈義町の少子化対策
岡山県 真庭市	真庭SDGs・バイオマスツアー 「木から電気を作る木質バイオマス発電コース」

■経済建設常任委員会

10月16日～18日

◎河村幸雄　　○小杉武仁　　三田敏秋　　姫路　敏
佐藤憲昭　　富樫光七

視察先	内　　容
兵庫県 姫路市	有害獣の利活用
広島県 広島市	バイオマス発電所
広島県 呉　市	大和ミュージアムを生かした観光誘客の取り組み

◎：委員長　○：副委員長

先進事例

経済建設

協働のゼロカーボンシティへ

日下地内では、プラント事業を手掛ける太平電業㈱がバイオマス発電所の建設を進めており、同社が広島市で稼働している西風新都バイオマス発電所に伺い、施設見学と併せて事業概要について視察しました。

経済効果と雇用創出

木質チップを燃料とした発電施設で、定格出力約７４００kW・年間送電電力量が4万9000MWhと国内でも先進的な発電所であり、災害時のサブ電力や林産業をはじめ、地域への経済効果に加え、新たな雇用創出も実現されています。

本市でもバイオマス発電所の稼働により、大量の間伐材の利用が見込まれ、森林・木材産業振興の呼び水になることが期待されます。発電所の燃料に係る木材の調達方法を関係者と十分な検討を進め、事業の進展を注視していかなければならないと認識しました。

二酸化炭素の利活用

バイオマス発電によって生じた二酸化炭素は回収され、野菜の栽培に利活用しています。農業ハウスの利用方法など、本市での事業にも参考となりました。

騒音にも配慮した大型の発電所であり、見学をはじめ年間２００組の視察等の受け入れがあるそうです。

本市に建設された際は、環境学習の場としても大いに期待が持てると感じました。

12月定例会

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

市政のここが聞きたい

1 野村美佐子
1．国民健康保険
2．緊急通報システム
3．未来に向けた住まいづくり推進事業
4．支所機能の充実
5．柏崎刈羽原発の再稼働

2 令和新風会　髙田　晃
1．持続可能な地域医療提供体制の構築

3 姫路　敏
1．下水道料金の改定と合併処理浄化槽の在り方
2．村上総合病院の経営悪化
3．村上駅周辺まちづくり事業

4 鷲ヶ巣会　山田　勉
1．老人福祉センター
2．伝統行事の継承

5 高志会　鈴木一之
1．子育て支援を通じての生活環境の整備
2．障がい者の就労支援
3．食文化の継承、担い手不足の解消

6 高志会　長谷川孝
1．北前船日本遺産の構成文化財の保存・活用
2．みなとオアシスエリアの未利用地の有効活用

7 至誠クラブ　渡辺　昌
1．有害鳥獣被害対策の強化

8 新緑会　富樫光七
1．木質バイオマス発電
2．蒲萄スキー場の営業
3．オーガニック栽培と学校給食

9 令和新風会　佐藤憲昭
1．指定管理者制度
2．村上市グリーンプロジェクト

10 新緑会　上村正朗
1．障がい者就労施設等からの優先調達
2．村上駅周辺まちづくり事業

11 令和新風会　富樫雅男
1．特定検診での前立腺がん早期発見
2．帯状疱疹ワクチン接種費用助成
3．高齢者の防犯対策

１人暮らし高齢者の安心を

問「緊急通報システム」は大変良い制度だが、周知不足や申請条件の関係で、１人暮らし世帯４７５８世帯に対し86世帯の利用である。熱中症や転倒など１人暮らしは不安があるため、無料で貸し出すことはできないか。

答「利用者の不安解消につながる」など好評であるため、多くの方に利用いただけるよう検討したい。

問 国保加入者の人間ドック助成金の拡充は。

答 現在、制度の拡充に向けて準備を進めている。

問 全員協議会で、人間ドック助成を現行の２倍に引き上げると報告があったが、五泉市では６年度から「働き盛り支援事業」として40歳・45歳・50歳・55歳の節目の人間ドック助成を４万円にした。がんなどの早期発見は若い世代では重要であるが、働き盛りに対する特別の助成を行う考えはないか。

答 現役世代の受診率を底上げしたいと考える。インセンティブを与える政策だと思うので検討する。

問 国保にかかる均等割は所得の低い人ほど負担になるため、18歳まで無料にすべきである。「重点支援地方交付金」や６億円ある基金を活用して開始すべきでは。

答 提案された交付金は使い勝手が良いため、財源も確保できると思う。18歳以下の５割軽減の検討を進めていきたい。

高齢者にとって地域のコミュニティはとても大切

持続可能な地域医療を

村上で産み、育てられる環境を

問 村上総合病院が分娩休止になるが、今後の対象者への支援は。

答 分娩を予定している方々に対しての体制整備をしっかりするよう病院側へお願いした。また、県では、交通費や宿泊費の支援を考えているようである。現在、産前産後のフォローアップについて指示をしている。

問 分娩休止によって子育て支援策の後退を懸念するが、再開するための方法は。

答 分娩が村上市でできなくなることは非常に厳しい状況であるが、医師確保の問題や分娩にかかる費用面（年間１億1千万円の赤字）から、不採算医療を担う病院を一つの自治体で支援するのは難しいと考える。国策で行う必要があるので、診療報酬体系の変更を含め、厚生労働省などへ要望している。

問 村上総合病院へは毎年１億２千万円の運営費補助をしているが、今後の財政支援は。

答 運営費補助のほか、病院群輪番制病院運営費補助（約１２７０万円）、医療施設等設備整備費補助（約２２００万円）及び臨床研修医医師確保支援事業補助（７８８万円）などのさまざまな支援は引き続き行う。現在、非常勤医師の派遣費用の支援など、村上総合病院独自の課題を12月中に整理するよう伝えている。

今後、ＪＡ新潟厚生連病院で検討している修正経営計画を確認しながら支援できるものはしていく。

新たな発想で分娩再開を

問　村上総合病院では7年4月以降分娩を休止するが、市として受診中の妊婦に対する支援はあるのか。

答　現在、村上総合病院に通院中の妊婦には、市外の分娩取り扱い施設までの交通費と宿泊費の助成を軸に検討している。また、分娩休止が公表された11月14日以降に、妊娠の届出をされた全ての妊婦についても、同様に支援することを検討している。

問　この地で「産み・育てる」を柱とした子育て支援を考えたときに、最初の「産み」が、できなくなることは村上市にとっても痛手である。議会全員協議会で村上総合病院長の説明の場が設けられたが、そこでは今後分娩を再開するには、年間少なくとも200人以上、できれば250人の分娩が行われることが必要であるとの見解を示していた。そこで私からの提案として「村上総合病院で分娩を行う方には、村上市から30万円の特別手当を支給する。それは村上市民以外の方も対象とする」との大胆な発想が、村上総合病院での分娩再開に向けて必要であると思うが。

答　提案をありがたく思っている。確かに分娩手当30万円を支給するということは、カンフル的な可能性はあると思う。ただ分娩再開には医師の確保という高いハードルがあることも事実である。分娩再開に向けて、どのような支援が望ましいのか今後検証してみる。

安心な分娩に向けた心のケアを

荒川地域に「いこいの家」を

問　荒川いこいの家は、4年の豪雨災害により甚大な被害を受け、5年4月に廃止となった。廃止後は、老人福祉センターあかまつ荘が代替施設となったが、利用者からは「遠くて不便」「荒川地域にいこいの家を造ってほしい」などの声がある。そこで、グリーンパークあらかわ総合運動公園のエリアに、廃止となった荒川いこいの家のような施設を設置する考えはないか。

答　現在、荒川いこいの家の機能は老人福祉センターあかまつ荘が担っており、利用者が5人を超える場合は、送迎を行うなど利用者の負担軽減に配慮している。また、指定管理者においても各種講座などの新たな自主事業を実施し、利用者に楽しんでもらえるような取り組みを行っているので、同様の施設の建設は考えていない。

問　人口減少が加速する現状において、獅子踊りなどの伝統行事を守っていくためには、市の支援が必要と考えるが。

答　人口減少などにより、活動を休止せざるを得ない伝統行事があり、後継者育成や伝統行事の継承など担い手確保は喫緊の課題であると捉えている。今後は、保存会などから実態や意見を伺い、担い手不足の解消に向け、地域の枠を超えて広域的に応援できるような仕組みづくりなど、多方面から検討していく。

グリーンパークあらかわ総合運動公園のエリアにいこいの家を

本市の良さを実感し移住へ

問　村上市ショートステイ＋保育園利用移住体験事業は、移住策として画期的な事業だと思うが現状は。

答　利用者第1号として、6年9月29日から10月5日まで、沖縄県にお住いの親子3人に移住体験事業を利用していただいた。利用者からは「出会う人々が温かく、とても居心地が良かった」、「母親目線で市内を案内していただいたママ観光大使隊のサポートはとてもありがたかった」、「子どもが保育園に通いながら移住体験できたことは大変有意義であった」などの感想をいただいた。その後、「7年の春か夏ごろに移住する意思を固めた」と連絡をいただき、大変うれしく思っている。また、この体験事業が、子育て世代の移住に有効なものであると感じている。今後は、より多くの方に移住体験事業を利用していただくため、情報発信を強化するとともに、宿泊費の補助など利用者の負担軽減につながる施策を検討していく。

問　保育園においても、ICTを活用した業務システムの導入など、職員の負担軽減を図っているが、保育DXの現状は。

答　市営の保育園全てに、保育業務支援システムを6年7月に導入し、登園管理や連絡帳機能などを活用している。7年4月からは、指導計画や園日誌などの帳票管理機能も活用し、保育士の負担軽減と保育サービスの向上につなげていく。

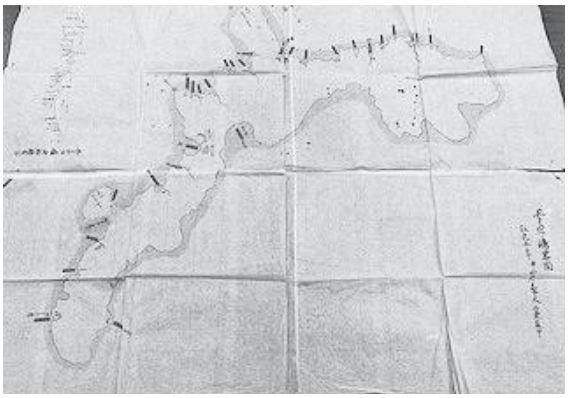
ママ観光大使隊が移住体験者へ村上市の魅力を発信

北前船の宝を地域の力に

問　文化庁が認定する北前船日本遺産に、本市の17点の構成文化財が認定された。散在する17点の保存と活用方法は。

答　17点のうち個人所有が7点あり、その中には市指定文化財も含まれる。個人所有の構成文化財の公開や古文書の解読等については、所有者の意向に沿った丁寧な説明を行い進めていく。

　船絵馬は市内各地に点在し、保管状況も異なる。所有者から保存に関する相談があった際には、適切な保存手法を助言してきたほか、市指定文化財に対しては市の補助金があることを伝えている。また、市所有の古文書は、北前船関連の資料を抽出するための整理作業に着手しているが、数が膨大であることや解読に専門知識を要することから相当の期間を要すると考えている。


旧磐舟文華博物館の北前船択捉島海図（弘化５年）

問　旧磐舟文華博物館の北前船関係資料の取りまとめは。

答　博物館所蔵の歴史資料の中には、江戸時代後期から明治時代の貴重な海運関係資料等が含まれているため、他の市所有資料とともに整理し、活用を図っていきたい。

問　保存を兼ねた資料館の開設が必要では。

答　北前船の歴史や貴重な資料を後世に継承していくための手立てとして、資料館の設置のほか、資料の保存や展示方法など多様な手法を検討したい。

有害鳥獣被害対策 強化を

問 農地と林地の境界部への緩衝地帯整備やワイヤーメッシュなどによる侵入防止柵設置は有害鳥獣被害対策として有効と思うが現状は。

答 緩衝地帯整備は動物の出没を抑制し、電気柵との組み合わせでより効果が高まる。8組織が集落周辺の森林・竹林整備を行っている。ワイヤーメッシュの柵を設置しているのは1集落で、電気柵より費用が多くかかるが、イノシシの侵入防止に非常に効果的であると聞いている。

問 有害鳥獣の駆除を推進するために、捕獲報奨金に市からの上乗せが効果的ではないか。

捕獲したイノシシをそのまま投入できるのがいちばんのメリット（大野市にて施設見学）

答 本市での報奨金は国が定めるものと同額で、イノシシが7千円、ニホンザルが8千円であるが、金額の上乗せは捕獲者の負担軽減や捕獲意欲の増進などに効果的であり、金額や方法について見直しを考えている。

問 今後の有害鳥獣被害対策の強化や効率化へ、有害鳥獣対策室の設置など関係部署の一元化が必要では。

答 総合的に統括する部署の必要性は考えているが、現状の体制を維持し、ワンストップで対応できる仕組みを構築して効率化を図っている。

問 会派で福井県大野市の有害鳥獣分解処理装置施設を見学してきた。イノシシなどを丸ごとおがくずの微生物で分解する施設だが、捕獲後の処理の負担軽減のため、本市でも同様の施設の整備を検討してはどうか。

答 しっかりと検討したい。

蒲萄スキー場　最後の営業

問 最終年度となる蒲萄スキー場の行事予定は。

答 最終年度となる今シーズンは、6年12月25日から7年3月9日までの営業を予定している。行事については、「スノーフェスティバル」や「ゆるキャラまつり」を実施することとしており、最終日には「蒲萄スキー場感謝祭」として、さまざまなイベントを計画している。感謝の気持ちを皆様にお伝えできるよう蒲萄集落をはじめ、関係者の皆様からご意見やご提案をお聞きしながら進めている。また、小中学生のリフト1日券が無料となる日についても、例年より日数を増やして実施する。

問 平日のリフト券を半額にして、週末と平日の来客数を平準化することが経営の効率化につながると考えるが。

答 検討してみたい。

問 蒲萄スキー場に代わる冬の健康対策と遊び場は。

答 運動の機会を冬期間においても提供できるよう取り組みを進める。

問 国は2050年までに耕作面積に占める有機農業の取り組み面積の割合を25％（100万ha）に拡大する政策を掲げているが本市の取り組み状況は。

答 食の安心安全そして食料安全保障の観点からも大切だと思う。まずは化成肥料から有機資材へ転換する作付面積の拡大を図っていく。

蒲萄スキー場のにぎわいに期待

脱炭素社会と林業振興へ

問 売電価格が20年間変動しない制度から市場変動価格と連動する制度に変わることで、林業事業体などから燃料となる木材の買取価格への影響は。

答 使用する木材は、市場価格を参考に決定することから影響はない。

問 林地から切り出される建築資材であるA材B材の販路拡大対策は。

答 販路については、岩船港の利用も始まっているが、木材の出口戦略が大変重要であるため、現在の東京都港区との連携をさらに推進し、本市産木材の需要拡大を図っていく。

問 グリーンプロジェクト予定地までの道路・橋などインフラ整備の概算費用と財源は。

答 7年度から3カ年計画で、総事業費は5億4千万円。財源は、社会資本整備事業交付金と地方債の活用を予定している。

問 指定管理料の人件費積算を他市の事例を参考に見直す考えは。

答 施設の事業内容によって相違はあるが、物価高騰等考慮し、指定管理者の負担を回避し、運営できるよう検討していく。

問 主にデイサービスセンターにおいて赤字経営が常態化しており、営業努力と経費削減もむなしく、人件費削減を余儀なくされている。持続可能な市民サービス提供のため「利用料金型」から「併用型」に移行するなど見直す考えは。

答 まずは、状況を把握させていただき、その上で検討する。

村上市グリーンプロジェクト開発予定地（日下）
ゼロカーボンシティへの貢献と林業振興に期待

障害者の就労支援の充実を

問 障害者優先調達推進法を踏まえた本市の取り組みの現状と課題は。

答 5年度の調達額は132万円であった。市と障害者就労施設の間で市が求める物品や役務の種類、施設の供給量などの情報共有ができていないことが課題である。

問 現状と課題を踏まえた今後の取り組み方針は。

答 市の業務について外部発注の可否を再検討するほか、市と施設が情報交換を行うための説明会を開催することとしたい。

問 先進地視察の実施や共同発注の仕組みづくりを検討すべきでは。

元気に働いています！（就労継続支援B型事業所）

答 実現に向けて検討する。

問 村上駅周辺まちづくり事業の進捗状況と事業を進める上での課題は。

答 ジャスコ跡地と村上総合病院跡地などの取得について協議が整い、事業用地全体の取得に目途が立った。
7年度は市道工事や統合保育園の敷地造成工事などを予定している。事業を進める上ではにぎわいの創出につながるよう市民や企業と連携して取り組みを進めていくことが重要だと考えている。

問 ジャスコ跡地の土壌汚染について、流出などのリスクはないか。

答 リスクはあるが、対応できる体制をつくっていく。

問 リスクがある土地の寄附を受けることについて、議会や市民に対する説明が不足していたのではないか。

答 説明してきたという認識はある。

高齢者、地域の防犯対策

問　高齢者を狙った振り込め詐欺を防止するため、通話録音装置を無料で貸し出しているが状況は。

答　現在27台を貸し出しているが、利用者からは不審電話が減少したと聞いている。また、遠隔地の家族からも安心できるとの声がある。

問　防犯カメラは犯罪抑止効果が大きく、証拠映像として利用できる。市内全ての小中学校に防犯カメラが設置され、一部高齢者施設でも利用が進み、安心感につながっているが、プライバシー保護等を考慮した運用基準は設けられているか。

答　小中学校には教育委員会で定めた管理運用基準を周知しているが、高齢者施設では設けていない施設が多いのが実態である。

問　県では、自治体の設置を促進するために1台につき10万円の補助制度を設けているが、活用実績は。

答　市としての活用実績はないが、地域のニーズも確認しながら、県の補助制度の活用を図っていきたい。

問　厚生労働省は帯状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた検討を進めており、全国ではこの一年半で接種費用を助成する自治体が42％と大幅に増えている。本市でも早期に接種費用の助成をすべきではないか。

答　ワクチン接種は非常に重要なことと認識しており、国の動向を注視したい。自己負担額は県と県医師会の契約に基づいた額に設定したいと考えているが、幅広に検討していく。

防犯カメラが市民を守ります

全国から視察を受け入れました

村上市議会では他議会からの行政視察の受け入れを行っています。６年には次のとおり12議会を受け入れました。

月　日	議　　会	視　察　内　容
1月10日	愛知県岡崎市議会（４人）	村上市スケートパーク
1月16日	埼玉県ふじみ野市議会（１人）	「村上地域まちづくり計画」の取り組み
4月 4日	東京都荒川区議会（12人）	村上総合病院
6月27日	福島県楢葉町議会（15人）	内水面漁業（鮭漁）の現状
7月11日	長崎県議会（１人）	村上市スケートパーク
8月21日	新潟県議会（15人）	中学校の部活動地域移行
10月10日	茨城県筑西市議会（11人）	議員定数の見直し
10月16日	新潟県加茂市議会（６人）	部活動の地域移行／村上市スケートパーク
10月29日	兵庫県朝来市議会（１人）	部活動地域移行の取り組み
10月31日	徳島県石井町議会（12人）	部活動地域移行／田んぼダム
11月 7日	岩手県二戸市議会（７人）	村上市スケートパーク／歴史的背景を活用したまちづくり
11月20日	和歌山県日高川町議会（８人）	村上市議会の防災・災害対策／村上市議会のデジタル化・ペーパーレスの取り組み

12月定例会

令和6年村上市議会12月定例会は、12月3日から20日までの18日間の会期で開かれました。
この定例会には、市長から条例改正や補正予算など議案34件、議会側提案の請願や議員発議など5件が提出されました。

市営羽黒町墓地を整備

議第122号　村上市墓地設置条例の一部を改正する条例制定

市営羽黒町墓地に20区画を整備し、永代使用料を10万円とします。

問　20区画を整備したが、今は墓じまいする人も増えている中で、需要の見込みは。

答　現在申し込みが1件ある。今後の見通しは立っていないが、市営墓地としてある程度の区画の確保は必要であり、ホームページなどで周知していきたい。

問　今後市営墓地を整備する中で、従来の家ごとの墓でない共同墓についても検討してはどうか。

答　家族の形態もいろいろ変わってきており、そのような墓地の在り方についても研究していきたい。

村上総合病院跡地の新設道路を市道路線認定

議第125号　市道路線の認定

村上駅周辺まちづくり事業において、大規模跡地活用に向けて村上総合病院跡地に新設される道路を市道路線認定します。

問　市道認定においては土地の寄附が前提となると思うが、なぜ買収となるのか。

答　村上駅周辺まちづくり事業の計画の中で、統合保育園の建設に当たり、ここに市道が必要であることから、市が買収するのが妥当であると判断した。

問　市道認定することで事業の構想が決まったと判断されてしまう。全体の土地の購入後に市道認定してもよいのではないか。

答　市道認定しないと民地の提供者が所得税や市県民税の長期譲渡所得の控除が受けられなくなるなど用地提供者に迷惑がかかることや、統合保育園の開園のスケジュールにも支障が出ることから、今定例会に上程した。

笹川流れ夕日会館の指定管理者を選定

議第132号　公の施設に係る指定管理者の指定

笹川流れ夕日会館と桑川駅前広場駐車場の指定管理者に、引き続き㈱笹川流れ観光開発が選定されました。

問　人件費が上昇しているが、指定管理料には反映されているのか。

答　人件費については指定管理者の裁量となっているが、最低賃金を超えていることを確認している。

問　設備などが破損した場合の対応は。

答　年間で修繕費60万円までは指定管理料に含まれている。大規模修繕については、どちらが修繕を行うかその都度協議して対応している。

11t級除雪ドーザなど除雪機械12台を購入

議第128号～議第131号　財産の取得

問　除雪機械をリースではなく購入とする理由は。

答　国の国土強靱化の取り組みに関連して、緊急自然災害防止対策事業という有利な起債があり、その制度を活用して購入を行っている。

問　地元業者が落札できるように、制限付一般競争入札などの導入は考えられないか。

答　現在は指名競争入札で行っており、市外の業者が落札する場合が多い状況であるが、購入車両の点検整備や修繕は市内業者に依頼している。入札方法については、制限付一般競争入札などいろいろな方法があり検討したい。

問　リース満了の除雪機械を市で購入して利用できないか。

答　これまではリース満了時に返却していたが、中古機械の購入については経済的な面の比較なども踏まえ今後の検討課題としたい。

令和６年度一般会計補正予算

こども家庭センターの利用者が増加

こども家庭センター事業経費　83万円

問　要支援児童などがいる家庭の支援を行う「こども家庭センター」の利用が増えているとのことだが、事業の詳細は。

答　家事のほか育児や療育へのサポートが必要な家庭に対し、訪問してそれらを支援する事業であり、市社会福祉協議会と民間の子育て支援団体に委託している。

児童館の子育て支援センターへの集約を検討

子育て支援センター事業経費　226万円

問　村上地区に４つの児童館があるが、子育て支援センターの利用者が非常に増えている一方で、同様の機能を持つ児童館の利用者が減少している。財政健全化の視点での考えは。

答　財政健全化集中取組の項目の中で、児童館の子育て支援センターへの集約の可能性について協議、検討を進めている。

高齢者の運転免許証返納への奨励金を増額

高齢者運転免許証自主返納奨励金　90万円

問　運転免許証返納奨励金の申込が増加しているとのことだが。

答　当初予算では300件分で450万円を見込んでいたが、現在、月平均25件としていた想定を上回っており、今後冬場の免許証返納の増加も見込まれるため、今回の補正で60件分90万円を増額する。

企業誘致へ新規雇用を支援

企業誘致経費 新規雇用促進奨励金　120万円

問　新規雇用事業者に奨励金を交付する制度の概要は。

答　企業設置奨励条例に基づいて、指定を受けた対象企業の新規雇用事業者に対し奨励金を交付するもので、今回、対象企業において12名の新規雇用者が確認されたので、奨励金を交付する。

境川の堆積土砂を撤去

河川維持管理経費 工事請負費　238万円

問　野潟地内の普通河川境川をしゅんせつする補正であるが、他の河川の状況は。

答　国の令和３年度から６年度までを事業計画期間とする有利な起債を活用して、これまで８河川、９区間のしゅんせつを５年度末までに実施している。

土砂堆積により川幅が狭くなっいる境川▶

議案の審議結果

◎＝全会一致で可決、承認、採択

議案番号	議　案　名	結果
請願第5号	年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める請願	◎
請願第6号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の採択を求める請願書	◎
議員発議第18号	「持続可能な学校の実現を目指す」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書の提出について	◎
議員発議第19号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	◎
議員発議第20号	年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める意見書の提出について	◎
議第112号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（伊與部　久子 氏：再任）	◎
議第113号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（中山　光市 氏：再任）	◎
議第114号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（片野　佐喜子 氏：再任）	◎
議第115号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（佐藤　美喜子 氏：再任）	◎
議第116号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（木村　喜智子 氏：新任）	◎
議第117号	村上市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第118号	村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第119号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第120号	村上市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第121号	村上市職員の寒冷地手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第122号	村上市墓地設置条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第123号	山北地域活動支援センター設置条例を廃止する条例制定について	◎
議第124号	公の施設に係る指定管理者の指定について（むらかみ病児保育センター、あらかわ病児保育センター）	◎
議第125号	市道路線の認定について	◎

議案番号	議　案　名	結果
議第126号	山熊田長期滞在施設条例を廃止する条例制定について	◎
議第127号	桃崎人道橋補修工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
議第128号	財産の取得について（11ｔ級除雪ドーザ）	◎
議第129号	財産の取得について（8ｔ級除雪ドーザ）	◎
議第130号	財産の取得について（8ｔ級除雪ローダ）	◎
議第131号	財産の取得について（4ｔ級除雪ミニホイールドーザ）	◎
議第132号	公の施設に係る指定管理者の指定について（笹川流れ夕日会館、桑川駅前広場駐車場）	◎
議第133号	令和6年度村上市一般会計補正予算（第11号）	◎
議第134号	令和6年度村上市土地取得特別会計補正予算（第1号）	◎
議第135号	令和6年度村上市情報通信事業特別会計補正予算（第2号）	◎
議第136号	令和6年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第2号）	◎
議第137号	令和6年度村上市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	◎
議第138号	令和6年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	◎
議第139号	令和6年度村上市介護保険特別会計補正予算（第2号）	◎
議第140号	令和6年度村上市上水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議第141号	令和6年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	◎
議第142号	令和6年度村上市下水道事業会計補正予算（第2号）	◎
議第143号	令和6年度村上市一般会計補正予算（第12号）	◎
議第144号	令和6年度村上市土地取得特別会計補正予算（第2号）	◎

請願の審議結果

件　名	請　願　者	紹介議員	付託委員会	審議結果
年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める請願	全日本年金者組合新潟県本部 委員長　稲葉正美 ほか１人	野村美佐子	市民厚生常任委員会	採択
「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の採択を求める請願書	新潟県教職員組合村上市岩船郡支部 執行委員長　藤山　晶	川村敏晴	総務文教常任委員会	採択

※請願は本会議で採決が行われ、過半数の賛成により採択されます。

陳情の審査結果

件　　名	陳　情　者	所管委員会	審査結果
臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表　丸山治章	県外からの郵送による陳情は、原則として委員会で審査せず、全議員への配付にとどめる取り扱いとしています。	

※陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で、願意了承となります。

意見書

◎　**「持続可能な学校の実現を目指す」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書**

◎　**北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書**

◎　**年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める意見書**

上記の意見書が本会議で可決され、関係行政庁に送付されました。

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意しました（任期：令和７年４月１日～10年３月31日）

伊與部久子（いよべひさこ） 氏
（神林地区・再任）

中山光市（なかやまこういち） 氏
（村上地区・再任）

片野佐喜子（かたのさきこ） 氏
（村上地区・再任）

佐藤美喜子（さとうみきこ） 氏
（村上地区・再任）

木村喜智子（きむらきちこ） 氏
（山北地区・新任）

人権擁護委員は、人権擁護委員法の規定により、市長の推薦、市議会の同意を経て法務大臣から委嘱されており、法務局と連携して主に次の活動を行っています。

・人権相談を受け、問題解決のお手伝いをします。
・人権侵害による被害者を救済します。
・地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行います。

議会の活動レポート
地域を見る、聞く

透析患者の通院の現状は
11／5 市民厚生常任委員会

人工透析患者の通院における現状と課題を把握し、議会としての対応や方策を検討することを目的として調査を行いました。

通院助成制度の現状

通院助成制度は、人工透析患者に対して通院に要する経費の一部を助成することによって、透析患者や家族の経済的負担の軽減を図ることを目的としています。

制度の利用状況は5年度で受給者120人、支給額343万8千円です。

6年10月末時点の制度利用者は109人で、通院している医療機関の所在地別では市内が102人、新発田市5人、新潟市と鶴岡市が各1人となっています。

透析患者の人数は5年度で137人、通院助成制度を利用していない方もいます。利用しない理由は、手続きが面倒、日中仕事をしていて手続に行けないなどとなっています。

今後の取り組み

人工透析の通院のための経費が大変だという話をよく聞きます。一方で、通院手段や医療機関までの距離、通院経費、本人の収入など、担当課において実態の把握が不十分であることが確認されました。

通院の現状と課題を把握した上で、今後の対応策を検討することとし、福祉課で実態調査を実施することとなりました。

公共下水道の効率化へ
11/5 経済建設常任委員会

当委員会では、下水道事業の現状、経営状況および下水道料金体系について調査を実施しました。

下水道事業の経営状況

5年度の下水道使用料収入が約8億円に対し、一般会計からの繰入金は約29億円となり、独立採算性の実現は難しく、厳しい経営状況になっています。

経営改善のため、施設機能の集約を図り、効率化と維持管理経費削減のための施策が急がれます。

経営改善の取り組み

下水処理場の統廃合により、7年度から16年度までの10年間で、6億8200万円の経費削減を見込んでいるとのことでした。

下水処理場の運営よりも合併処理浄化槽の運営がコスト面で優位であることも上下水道事業審議会で議論されてきましたが、経済比較や地域性などを考慮し、集合処理から個別処理への事業転換は可能なのかを含め、先進地事例などを踏まえながら具体的に検討を進めたいとのことでした。

料金の改定

料金の改定については、住民説明会を行い、経営改革や効率化などについても説明を加え、丁寧に進めていく必要性があるとの意見を伝えました。

料金改定についての市民説明会を7年2月から開催し、改定時期は8年6月ごろを予定しています。

改定率（案）

水道料金は、14・4％
下水道使用料は、34・0％

学校跡地の利活用を

11／5 総務文教常任委員会

学校跡地の利活用と市有財産の在り方を探ることを目的として、旧寒川小学校、旧桑川小学校、旧上海府小学校、さらに旧門前谷小学校の現地視察を行いました。

老朽化した施設の実態

廃校当初は旧校区の地元から施設維持・活用の要望があったものの、活用されず、旧上海府小以外は老朽化で施設の雨漏りなど劣化が相当進んでおり、厳しい実態を確認しました。

利活用が進まなかった要因

現在学校跡地は、スポーツ施設、学校・共同調理場、文化財施設に分類されています。また旧門前谷小は文化財収蔵庫として活用されているほか、旧上海府小以外はほとんどが利用されていません。

市内ではこうした廃校舎が多くありますが、教育財産のままとなっており、財政課に所管替えした上で普通財産として有効な活用が検討されなかった事が要因と考えます。

また、施設の解体には巨額の経費がかかることから、先延ばしとしてきたことも大きな要因です。

市長に意見書を提出

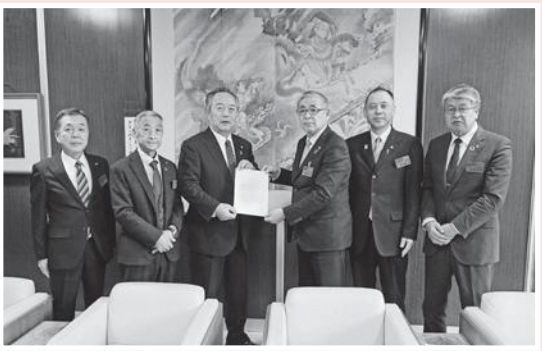
現地視察後の会議では、今後の対応について活発な意見が出されました。

このような実態を踏まえ、市長に対し施設管理等の担当部署を設けて利活用を検討する事など、用途廃止施設の利活用や処分を求める要望書を手渡しました。

旧寒川小学校の体育館

用途廃止施設の活用と処分の推進を要望

— 12月20日 —



総務文教常任委員会では、学校跡地の視察や湯沢学園の行政視察を踏まえ、議会として用途廃止施設の在り方について議論し、市長に対し要望しました。

用途廃止後も活用の方向性が示されないまま、担当課で行政財産として管理されている施設も多く、利活用の時期を逸してしまっているものも見受けられ、効果的な利活用、適切な処分が進んでいないのが現状です。

市内には、学校跡地をはじめとして、その目的を終えた公有財産が多数あり、その財産管理のために恒常的な維持管理費用も支出されています。それらの財産の中には、他の目的で使用できるものや譲渡などにより処分可能な財産もあると考えられることから、４項目の要望を行いました。

要望内容

①使用目的を終了した行政財産は、速やかに用途廃止するとともに普通財産へ移管し利活用を推進すること

②利活用が望めない老朽化した建造物は早急に解体し、景観に配慮するとともに安全管理を徹底すること

③老朽化した建造物の解体等の費用については、必要に応じて国へ財政的な支援を働きかけること

④民間活用等利用促進や施設管理のための専門部署を設け、業務の集約と相談窓口の一本化を図るとともに、普通財産に係るリスト等の公表について検討すること

村上高校

11月18日、1年生と議会運営委員会との懇談会を実施しました。

地域を知る「イヨボヤプラン」

村上高校では、1年生が6つのテーマごとに分かれ、「地域を知る」課題に沿って各班がポスターを作成し、1月31日に校内で発表します。発表に使用するポスターを作成する前に、市の出前講座で地域の課題を学習するほか、議会側が各班からの質問にアドバイスをしています。事前に6班のテーマを基に担当テーマを議員に割り当て、当日の懇談会に臨みました。

生徒から多くの質問

問 **市は人口対策として、どのようなことに取り組んでいるか。**

答 さまざまな子育て支援、企業誘致などに取り組んでいる。

問 **空き家がたくさんあるが有効活用できないのか。**

答 移住体験、空き家バンク登録などにより、その有効活用を図っている。

この他にも

・市が進めようとしている村上駅前周辺まちづくりはどんなものか。

・認知症の種類ごとの男女比はどのくらいか。

・荒川地域の羽越水害の被害はどのようなものだったか。

など各班で議員に多くの質問が出され、答弁を真剣に聞き、メモを取る生徒の姿も見受けられました。

今回の地域を知る「イヨボヤプラン」の活動を通して、生徒の皆さん一人一人において主権者意識が醸成されることを切に願います。

村上市の将来像を語ろう

高校生と議会の懇談会を開催

村上市議会では、村上市を担っていく若い世代である高校生を対象に、議員が市内３つの高校と中等教育学校に出向いて「高校生と議会の懇談会」を実施しています。

今号では、村上高校と荒川高校での様子を紹介します。

荒川高校

11月20日、3・4年生と議会運営委員会との懇談会を実施しました。

議会の仕組みを説明

初めに議会側から、市議会が果たしている役割や仕組みについて説明しました。

生徒の皆さんの真剣に聞き入っている様子に、議員の説明にも熱が入りました。

生徒から多くの質問や意見

班ごとに村上市の行政運営や市民活動についての質問があり、議員が答弁しました。全てを紹介できませんが、主なものを紹介します。

問 **なぜ市民から不要との意見もある赤字のスケートパークを作ったのか。**

答 確かに使用料だけの金額を見れば赤字といえるが、スケートパークで開催された各種大会やイベントには、多くの観客や関係者が訪れており、これらによる経済効果が見られる。今後もスケートボードの練習や合宿のために、この施設を利用する人たちが多くなると考えている。

問 **倒壊寸前な建物や空き家が多くあるが、今後どう対処するのか。**

答 現在空き家は約1500棟あり、管理不全の空き家が260棟、倒壊等の恐れのある危険空き家が170棟ほどある。状況によっては、危険な空き家の所有者に市が管理強化の指導を行っている。

この他にも

・村上総合病院の跡地にショッピングモールや映画館などを造ってほしい。

・横断歩道の信号機を音の出るものにしてほしい。

などの要望がありました。

地方議会・政治への関心を
全国の議会から2365人が参加

第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡

10月9・10両日、盛岡市のトータルクラシックホール岩手で開催されました。「主権者教育の新たな展開」を大会のテーマに、活発な議論が繰り広げられました。

地方議会の課題と主権者教育

地方議会においては、投票率の低下や無投票の増加など、議会への関心の低下や議員のなり手不足が深刻化しており、多様な人材の議会の参画を一層進めていくことが急務です。

このテーマのパネルディスカッションでは、それぞれの立場から提言や実情が発表され、特に開催地である盛岡市議会議長からは、高校生が選挙や身近な地方行政への関心を高めることを目的に、高校生議会等を開催している事例が発表されました。

課題討議では、伊那市、四日市市及び山鹿市の市議会議長等から取り組み報告があり、「高校生の議会傍聴と意見交換」など若者の主権者教育の実態が報告されました。

フォーラムを終えて

このフォーラムには、新人議員の富樫光七と佐藤憲昭が参加させていただきました。開催地盛岡市の歓迎ぶりに圧倒されながら、また、会場地下での地元物産の販売会場では、地元高校生による熱のこもった呼び込みに感心させられた大会でした。

阿賀北五市議会 連携深める

新潟県阿賀北に位置する新発田市、阿賀野市、胎内市、五泉市および村上市の市議会で組織する協議会の議員研修会が本市を会場に行われ、各市から議員約50人が参加しました。この会は、各市の情報を交換し、市の発展に努めることなどを目的にしています。

研修会では、国の重要無形民俗文化財「村上祭の屋台行事」についてと題して講演が行われ、その後、小国町獅子舞保存会から村上七夕の獅子舞をご披露していただきました。議員研修会などを通して、本市の魅力を発信することができました。

議会中継は パソコン・スマートフォンで

村上市議会では、インターネットで議会中継の動画配信を行っています。

本会議当日は生中継をしています。見逃した方は、録画中継が本会議終了後（概ね５日後）からご覧いただくことができます。

ご家庭などでお気軽にご覧ください。

村上市議会映像配信
MURAKAMI CITY COUNCIL WEBCAST
こちらをクリック

市民へQ&Aインタビュー

希少な羽越しな布を後世に

地域おこし協力隊
丹羽（にわ）　梢（こずえ） さん（山熊田）

■自己紹介をお願いします

令和５年の春に東京から山熊田集落へ移住してきました。きっかけは、偶然にも友人の祖父母が山熊田の人だったこと。もともと伝統工芸が好きで藍染職人をしていた私は、山熊田へ連れてきてもらうとすぐにその暮らしとしな布に魅了され、「いつかここに引っ越して、今にも消滅しそうなしな布文化を残したい」と考えるようになりました。それから５年の間に数回訪れ、今は晴れて住人として暮らしています。

■活動内容を教えてください

現在は地域おこし協力隊として羽越しな布の継承に取り組んでいます。３年間の任期の中で、しな布制作の基礎技術の習得、しな布と切り離すことのできない山熊田の暮らし方の習得、そして自生する植物を使った草木染めや藍染めを用いた商品開発などを進行中です。

■今後の抱負は

山と生きてきた日本人の英知が詰まった、この無骨で美しい布の価値を広め、需要を増やし、後世に残していきたいと考えています。

世界的に見ても貴重な羽越しな布の存続を危ぶむ声が多くありますが、しな布だけでは生活できないため後継者が現れません。まずは自分がしな布生産で生計を立てることが目標です。

地元の皆さんにも、改めてしな布の魅力を感じていただけるよう励みます。

「議会の手引書」をリニューアル

議会広報特別委員会では、議会を身近なものに感じていただくため「村上市議会の手引書」作成しています。ぜひご覧ください。

令和７年 3月定例会のお知らせ（予定）

2月10日(月)	請願・陳情の提出期限（正午まで）
25日(火)	定例会初日（本会議）
26日(水)	代表質問（本会議）
28日(金)	一般質問（本会議）
3月3日(月)	
5日(水)	
6日(木)	総務文教常任委員会、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会
7日(金)	
10日(月)	市民厚生常任委員会、一般会計予算決算常任委員会市民厚生分科会
11日(火)	
12日(水)	経済建設常任委員会、一般会計予算決算常任委員会経済建設分科会
13日(木)	
18日(火)	一般会計予算決算常任委員会
21日(金)	定例会最終日（本会議）

＊この日程は変更されることがあります。
＊開会時間は午前10時です。

発行／新潟県村上市議会
発行責任者／村上市議会議長　三田敏秋
ホームページアドレス　http://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/
〒958-8501　新潟県村上市三之町１番１号
TEL/FAX　0254-53-3219（直通）
メールアドレス　gikai@city.murakami.lg.jp